

(別紙)

## SDGs 未来都市東広島推進パートナー宣言書

企業・団体名 スタンレー電気株式会社

代表者名 鈴木 剛

東広島市における活動等を通じて、次のとおりSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することを宣言します。

### 1 関係するSDGs目標（ゴール）（番号に○を付けてください。複数選択可）

①		貧困をなくそう	②		飢餓をゼロに
③		すべての人に健康と福祉を	④		質の高い教育をみんなに
⑤		ジェンダー平等を実現しよう	⑥		安全な水とトイレを世界中に
⑦		エネルギーをみんなに そしてクリーンに	⑧		働きがいも経済成長も
⑨		産業と技術革新の基盤を つくろう	⑩		人や国の不平等をなくそう
⑪		住み続けられるまちづくりを	⑫		つくる責任 つかう責任
⑬		気候変動に具体的な対策を	⑭		海の豊かさを守ろう
⑮		陸の豊かさも守ろう	⑯		平和と公正をすべての人に
⑰		パートナーシップで目標を 達成しよう			

### 2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

スタンレーグループでは、別紙のようにSDGsについて取り組み、環境や社会へ貢献するよう努めます。

環境にやさしい製品開発、交通安全への取り組みなど行っており、具体的にどのように記載すれば良いか検討、スタートしたところです。

※ 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、どのような活動を実施するか、また、その活動が1で選択したゴールの達成にどう貢献するかなどについて記載してください。

## サステナビリティ基本方針と体制

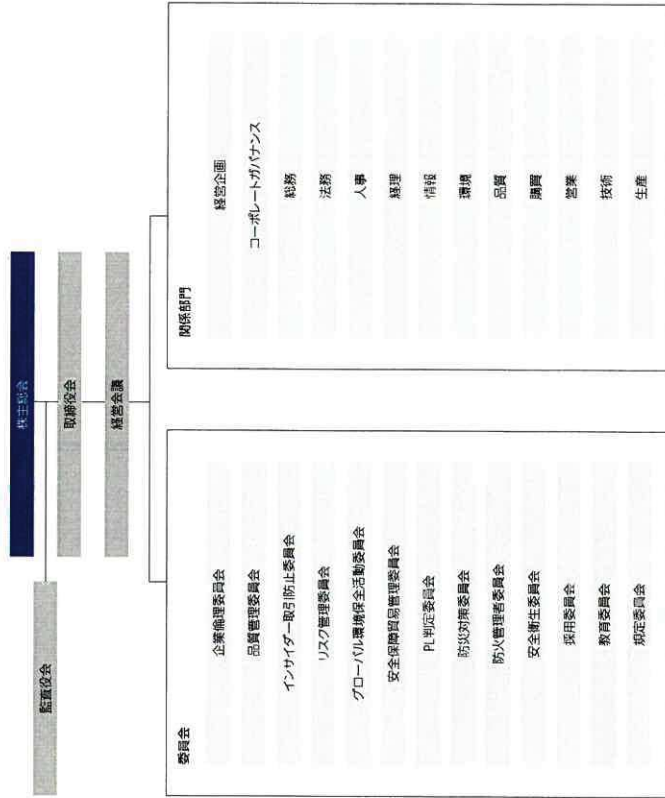
### 基本方針

スタンレー電気株式会社では、2000年4月にスタンレーグループの基本理念として、「スタンレーグループビジョン」を制定しました。この「スタンレーグループビジョン」は、スタンレーグループの基本的な価値観、社会における存在意義、永続的な使命を定めたものであり、今日その重要性が謳われている持続可能な社会づくりの概念と、同じ着眼点に立ったものです。

スタンレー電気では創業当時より、得志先・仕入先・社員・株主を大切に「四大切の基」となる経営の理念を持ち、戦後はこれを社是と位置付けて実践してきました。スタンレーグループビジョンにもこの思いは受け継がれています。ビジョンの発効を指すにあたっては、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、グループ全体でビジョンを共有することで総合力を最大限に引き出し、事業活動を通じた持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

また、「スタンレーグループビジョン」に掲げられている「行動指針」を正しく実践するためのガイドラインとして、「スタンレーグループ行動規範」を定めています。この行動規範に明示されている法令や社会規範の遵守、健全な職場環境の整備、社会に貢献する事業活動、人や自然への思いやり、そして社会とのコミュニケーションと共生を意識した行動をしていくことで、事業活動を通じて社会のさらなる発展に貢献できるように努めます。

### 体制図



ESG	項目	スタンレーグループの取り組み	関連するSDGs
Environment (環境)	環境に優しい製品開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に与える負荷を最小限にし、豊かな価値の創造と環境との調和を実現するため、ライフサイクル全体で、汚染の予防、気候変動の緩和、及び持続可能な資源の利用を含む環境保護に取り組んでいます。</li> <li>環境パフォーマンス(低炭素、循環型社会の実現)に向けた取り組み</li> <li>環境配慮設計(ライフサイクルセレクト、小型化・軽量化・省電力・高効率)</li> <li>環境配慮部品(材質保全・種別削減への貢献)</li> </ul>	
	グリーン調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>お取引先との相互協力により、地球環境に与える負荷を最小限にするため、グリーン調達ガイドライン・製品化学物質管理基準を制定しています。</li> <li>グリーン調達ガイドライン</li> <li>製品化学物質管理基準</li> </ul>	
	お客様への責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質・安全、及び環境保護に十分に配慮した製品を提供し、お客様からの信頼・愛護・理解・称賛に向けた取り組みを実施するよう努めます。</li> <li>お客様の安全</li> </ul>	
	お取引先への責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外を問わず広く門戸を開かれ、取引機会の均等を図るとともに、品質・価格・納期・安全・環境といった事項を基本とした、公正で合理的な基準によって、お取引先を支援します。</li> <li>また、取引関係を通じて相互に果たすことな目標とするにも、信頼に協力のもと、長期にわたる成長と競争力の維持強化に努めます。</li> <li>お取引先と一体となった環境の取り組み</li> <li>エコパートナーの登録</li> </ul>	
Social (社会)	社員への責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界中のあらゆる人々の人格や個性を尊重し、社員それぞれの個性と能力を十分に発揮できる、安全で働きやすい職場環境を整えています。</li> <li>人権の尊重と多様性の促進</li> <li>女性、高齢者、障がい者の雇用促進</li> <li>健全な職場環境の整備</li> <li>(労働環境、安全衛生、内部通報制度、社員の健康づくり)</li> <li>人材育成</li> <li>(人材育成計画、能力開発制度、研修制度、教育機関との交流、チャージング制度)</li> </ul>	
	国際社会・地域社会への責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルカンパニーの一員として国際社会のルールを守り、文化・慣習との差を乗り越えながら、各国の発展に寄与することを定めています。そしてこの規範のもと、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。</li> <li>公益財団法人、北野生涯学習振興会を通じた教育支援</li> <li>スタンレーレディティスゴルフの主催を目的としたスポーツ文化の普及の支援、寄付によるケニア学校建設等の子どもたちの教育支援、及び静思書林組合連合会への雨水の寄付</li> <li>紛争鉱物に対する取り組み</li> <li>その他の社会貢献活動(近隣地域でのクリーンアップ活動など)</li> </ul>	
	交通安全への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転者の疲労軽減の観点に立ち、夜間の交通事故をゼロを目指し、安全で安心なモビリティ社会の実現に貢献していきます。</li> <li>スタンレーグループの灯体の歴史と社会貢献</li> <li>人間工学への取り組み</li> <li>遠隔用、屋外特殊用途などのLED照明の提供</li> <li>ADBシステム</li> </ul>	
	深紫外線技術による衛生リスクへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>深紫外線光源とその応用製品を用いて、日々触れるもの、過ごす空間、口にするもの、リスクのあるあらゆる対象物への除菌を実現することで衛生リスクを低減し、世界中の人々に安全・安心を提供していきます。</li> <li>新型コロナウイルスを含まない加湿器やウイルスの不活化</li> <li>下痢菌による衛生リスク、及び5歳未満児の死亡率の減少</li> <li>安全で効率的な飲料水の製造にかつ衛生的かつ低コストなプロセス</li> <li>ペントボトル飲料水の需要削減によるプラスチックごみの削減</li> </ul>	
Governance (ガバナンス)	スタンレーグループ行動規範	「スタンレーグループ行動規範」を制定し、毎年見直しを行うためにコンプライアンス推進委員会をグループ社員に実施するとともに、これを理解し遵守する内容の「宣言書」を提出しています。	
	コーポレート・ガバナンス	経営の「透明性」「公平性」を追求し、世界に通用するコーポレート・ガバナンスの確立に向け取り組んでいます。	